



子ども食堂3周年を迎える

7月5日(日)、若柳公民館で「子ども食堂まるっと栗原3周年記念」が開催されました。

この催しは、子育て支援を目的に活動する特定非営利活動法人まるっと栗原が、設立から3周年を迎えたことを記念して開催したものです。

当日は、親子連れなど約90人が訪れました。子どもたちは外遊びなどを満喫した他、昼食にカレー



ライスが振る舞われ、ゆったりとした時間を過ごしました。

同法人は、今後も定期的に子ども食堂を開催します。

ZOOM UP!

まちの話題
ズームアップ!

MACHI no WADAI

各地区の催しを、毎月5地区ずつ紹介します。
取材を希望する場合は、催しを開催する2カ月前までに、市政情報課(☎22-1126)へ連絡してください。

フレイル予防で毎日を元気に

7月10日(金)、高清水9区集会所で「9区健康教室」が開催されました。

この催しは、健康づくりや介護予防などを目的に毎月開催されているものです。当日は、高清水9区から15人が参加しました。

教室では「オーラルフレイル予防・口腔ケア」と題し、歯科衛生士が歯磨きのポイントなどを紹介しま



した。また、音楽に合わせた軽い運動の「くりはら元気アップ体操」も行われ、参加者は、心地良い汗を流していました。

日本発祥バウンドテニス

7月4日(土)、花山公民館で「バウンドテニス体験会」が開催されました。この催しは、一般社団法人はなやまネットワークが、同地区住民を対象に新しいスポーツ体験の機会を設けようと開催したものです。

バウンドテニスは、通常のテニスコートの約6分の1のコートと短い専用ラケットを使用し、年齢や体力に合わせて手軽に楽しめる日本発祥のインドアスポーツです。



当日は、講師がスイング方法などを説明。参加した43人がボールを追いかけて、爽やかな汗を流しました。

小学生力士そろい踏み

6月21日(日)、栗駒地区のみちのく伝創館で「第42回わんぱく相撲栗原場所宮城県大会」が行われ、県内の小学校1年生から6年生までの選手約50人が出場しました。

土俵では、学年ごとに、力と力のぶつかり合う接戦が繰り広げられました。児童たちは最後まで全力の取組を見せ、駆けつけた保護者たちの応援にも熱が入りました。



今回、4年生以上で横綱の座を勝ち取った選手は、8月に両国国技館で開催される全国大会へ出場します。

咲き誇るユリを求めて

6月20日(土)から7月12日(日)まで、南くりこま高原一迫ゆり園で「ゆりまつり」が開催されました。

同園は、30年間観光名所としてにぎわいましたが、担い手の高齢化などで6年前に閉園しました。しかし、昨年、地元有志で作る一迫ゆり園おこし協力隊がまつりを復活させ、当時より規模は小さいながらも園内は再び



華やかな彩りを取り戻しました。

期間中は、咲き誇るユリを見ようと市内外から多くの来場者が訪れました。



(左から)及川さん、曾根原さん

世界を相手に挑戦

8月21日(金)から29日(土)にかけて、オランダで、15歳以下の選手で編成されるホッケー日本代表とオランダチームとの強化試合が行われます。今回、選手として築館中学校3年の及川纏さん(志波姫宮中)、男子ヘッドコーチとして築館中学校ホッケー部顧問の曾根原龍太さん(志波姫山の上)が選抜されました。

及川さんは「初めての海外試合で、世界のレベルの高さに不安はあるが、全国の仲間と共に実力を発揮したい」と意気込みを語りました。



全力プレーで全国へ

8月21日(金)から27日(木)にかけて、滋賀県で開催される「文部科学大臣杯NPBガールズトーナメント2026全日本女子学童軟式野球大会」に栗原ベースボールクラブ所属の一迫小学校6年の中鉢柚希さん(一迫新町)が出場します。

中鉢さんは、小学生選抜女子野球チーム「オール宮城ブルーリボン」のメンバーを決める選考会を突破。県代表に選出され、全国大会へ挑みます。中鉢さんは「実力を発揮して頑張りたい」と意気込みを語りました。

長寿100歳 おめでとうございます

大正、昭和、平成、令和。
激動の4つの時代を駆け抜け、思いを紡いで1世紀。
100歳の誕生日を迎えた4人を紹介します。



たか い りょうぞう
高井 良藏 さん
(若柳大林2)

秋田県出身で、結婚後は出稼ぎに出て、家族を支えました。

現在は、デイサービスに通い、利用者の皆さんとゲームに参加したり、手先の器用さを生かした活動を楽しんでいます。



さ と う きみまさ
佐藤 きみ彖 さん
(一迫東町)

夫を早くに亡くして以来、幼い子どもたちを抱えながら、生活のために必死で働き、立派に育てあげました。

現在は、夕食時の1杯の晩酌を楽しみに、家族と共に穏やかに過ごしています。



あ べ すず
阿部 スズ さん
(鷺沢秋法上)

結婚後は、3姉妹の子育てと家事に奮闘しました。

若い頃から手先が器用で、特に和裁が得意でした。2年前までは、自身の服のほころびも手縫いで修復していました。



さ と う よしこ
佐藤 芳子 さん
(志波姫山の上)

好きな歌手の歌を聞きながら、ゆったりとした毎日を過ごしています。

ひ孫の成長を何よりも楽しみにしていて、好き嫌いなく何でもおいしく食べることが長寿の秘訣です。